

<p>経済・経営</p>	<p>【代表的な研究テーマ】</p>
<p><b>keyword</b></p>	<p><input type="checkbox"/> 企業統治と戦略・経営・倫理の関係性  <input type="checkbox"/> 組織革新と経営における卓越性の追求</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 企業統治</li> <li>■ 経営倫理</li> <li>■ 組織デザイン</li> <li>■ 企業家精神</li> <li>■ 経営人材の育成</li> <li>■ 組織革新</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>課題解決に役立つシーズの説明</b></p> <p>私が提供できるシーズは、組織の制度・文化や人の問題に関わるテーマについて、社内の方々と対話を進めることで、社内教育や組織学習の一助を提供することかと考えます(とりあえず、企業へのシーズ提供を想定した文章にしていますが、地域産業などの起業家教育や病院などの公的機関なども射程に収めています)。課題解決のシーズを提供するというよりは、当事者の方々の課題解決のお手伝いをするのが私の役割と心得ます。</p> <p>たとえば、御社で卓越性を追求する経営をどう実現するのか、御社の組織の病理現象の診断や組織構造や社内の諸システムの評価、会社のアイデンティティの分析、過去の事業開発の成功や失敗の分析、経営者のパーソナリティと組織文化の相性の診断、社内の経営人材の育成方法の開発、風通しのよい組織への変革などについて、御社の方々と共同研究をすることが考えられます。</p> <p>そこでの私の役回りは、組織論を中心とした経営学の知見や事例などを提供するとともに、御社の方々の暗黙の前提を解読することや、思考の枠組みを壊すことであろうと思います。共同研究を通して、組織や仕事、顧客や競争相手についての多様な「モノの見方」に気付かせることは、組織を学習モードに転じる意義があると思います。即効的な成果は期待できないかもしれませんが、時々、組織や働く人々の再活性化や自己革新には、このような刺激が必要ではないでしょうか。</p> <p>共同研究の進め方としては、当事者の方々からテーマに応じた報告をしていただき、それを素材に対話を重ねながら組織論的分析を発展させていくことを考えています。その過程で、追加の情報収集や分析も当事者の方々には続けていただきます。いわば、御社についての濃密なケース・スタディーを社員(あるいは経営者の)の方々と共同で、ある程度の時間をかけて進めることとなります。当事者の方々が自らの状況についての理解を深め、自分で答えを見つけることが本当の問題解決につながると信じる所以です。</p> <p>このような方法には、双方の信頼関係や納得性が求められますので、共同研究を始めるにあたっては、よく相談をさせていただきたいと思います(守秘の問題もあり得るでしょう)。</p> <p>なお、わたくし自身の研究上の関心は、フィールドワークを通しての組織文化の解釈、組織のあり方が人々の思考や行動に与える影響、企業家精神、組織の規律とそこで働く人々の人生観との関係、企業に関する諸政策(たとえば、最近のガバナンスの強化など)と経営の関係性などにあります。これまで研究対象としてきたのは、「大企業の組織革新や事業開発」、「地場産業における企業家の役割」、「企業統治と経営者の選抜のあり方」、「アメリカ企業でのフィールドワーク」などです。</p>
<p style="text-align: center;"><b>伊藤 博之</b> Hiroyuki Itou</p>	
<p style="text-align: center;">経済学部 教授</p>	
<p>【プロフィール】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1965 年京都市生まれ</li> <li>・経営組織論・企業統治論</li> <li>・神戸大学大学院</li> <li>経営学研究科前期課程修了</li> <li>・博士(経営学)</li> </ul>	
<p>【主な社会的活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本ベンチャー学会 (理事・学会誌審査編集委員)</li> <li>・企業家研究フォーラム (幹事)</li> <li>・滋賀県信用保証協会・外部 組織評価委員</li> </ul>	
<p>【主な著書】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主著 『アメリカン・カンパニー』 白桃書房(企業家研究フォーラム賞、経営行動科学学会優秀事例賞)</li> <li>・共著 『組織能力を活かす経営』 中央経済社</li> <li>・共訳 『ベンチャー・ビジネス・オフィス』 生産性出版。</li> </ul>	